

唾液中コチニン濃度と歯周病との関連

【背景】

喫煙と歯周病との関連に関する疫学研究の多くは、質問調査票やインタビューによって、喫煙習慣の情報を収集しています。今回、九州・沖縄母子保健研究のデータを活用して、喫煙の客観的な指標の一つである唾液中のコチニン濃度と歯周病との関連について解析しました。

【方法】

九州・沖縄母子保健研究のベースライン調査に参加頂き、出産後 1 年までの間に歯周ポケット測定 のデータが得られた 1177 名の女性うち、今回の解析に使用する変数に欠損のない 1103 名の女性 を対象としました。年齢、居住地域、家計の収入、教育歴、歯磨き頻度、歯間ブラシの使用の有無に ついて補正しました。

【結果】

3.5mm 以上のポケットを有している人は、11.3%でした。唾液中の平均コチニン濃度は、7.3ng/mL で した。唾液中のコチニン濃度が 1ng/mL 上昇するごとの調整済みオッズ比は、1.004 (95%信頼区間: 1.000-1.007, $p=0.045$)と有意な正の関連を認めました。

【結論】

唾液中のコチニン濃度と歯周病有症率との間には、統計学的に有意な正の関連を認めましたが、そ の上昇はわずかでした。煙草煙への曝露は、歯周病に影響を与えそうです。さらなる研究が必要で す。

【出典】

Tanaka K, Matsuse R, Miyake Y, Hanioka T, Arakawa M. Salivary cotinine concentrations and prevalence of periodontal disease in young Japanese women: the Kyushu Okinawa maternal and child health study. J Periodontol. 2013; 84: 1724-9.